

瀬山 智博 Seyama Tomohiro



これまでにドイツ・マグデブルグ歌劇場、デッサウ・アンハルト州立歌劇場、スイスのヴィンタートゥール歌劇場などの歌劇場で指揮者を務め、オペラとシンフォニーの両分野において活動を続けている。

2008年にドイツのアーヘン市立歌劇場のコレペティートルとして活動開始。2009年にウィーンのシェーンブルン宮殿歌劇場でモーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」を指揮してデビューした。オーストリアのブレゲンツ音楽祭、グラフェネック音楽祭やイタリアのトリノ王立歌劇場においてアシスタント指揮者を務め、2016年からはドイツのマグデブルグ歌劇場のカペルマイスター(専属指揮者)として活動。ビゼー「カルメン」、ニコライ「ウィンザーの陽気な女房たち」、ロルツィング「密猟者」など、数々の公演を指揮し高評を博した。2018年にはトーンキュンストラ管弦楽団アシスタント、ウィーン少年合唱団の指導を務めるなど、活動の場は多岐にわたる。2019年からは座間市「オペラ・ノヴェッラ」指揮者を務めており、これまでに「トスカ」「ラ・トラヴィアータ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「修道女アンジェリカ」を指揮。2021年よりノマドオペラ音楽監督を務め、「ラ・ボエーム」「カルメン」を指揮し、いずれも好評を博した。

ヨーロッパではこれまでに BBC 交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ソフィア祝祭管弦楽団、ドイツ・マグデブルグ・フィルハーモニー管弦楽団、デッサウ・アンハルト州立管弦楽団、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥールなどを指揮。日本国内では東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫県立芸術文化センターオーケストラ、広島交響楽団、九州交響楽団など、国内外多数のオーケストラと共演を重ねている。

3歳よりメキシコで音楽教育を受け始め、大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科、同大学院修了。同大学在籍中にウィーン楽友協会合唱団メンバーとして研鑽を積み、同合唱団コレペティートルとしても活動。これまでに指揮を故湯浅勇治、小澤征爾、レオポルト・ハーガー、ウロシュ・ライオヴィチ、ファビオ・ルイジ各氏に師事。シエナ・キジアーナ音楽院オーケストラ指揮ディプロマ所得。

シカゴ・ショルティコンクールセミファイナリスト、ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。日本のメディアにはこれまでにテレビ朝日「題名のない音楽会」、朝日放送テレビ「スタンダップ!」などに出演。ABC ラジオ「堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー」最多出演回数記録更新中。

